

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

—— 地域で活発な活動団体を紹介します! ——



第38号

令和6年9月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1(県庁9階)
電話 058-272-8199

46 芥見まちづくり協議会 (岐阜市)

活動地域: 岐阜市芥見地区 活動拠点: 「芥見まちづくり協議会」 会長: 後藤 東洋士

地区の概要

芥見は、岐阜市の北東部に位置し、西に長良川、東に権現山があり、そのふところに東部クリーンセンター（岐阜市最大のゴミ焼却場）がある。北は関市に接しており、南北に国道156号線が走り岐阜市の中心地へと繋がる中山間地である。

【地区データ】(出所: 岐阜市住民基本台帳 地区別世帯数及び人口)
(令和6年8月1日現在)

人口: 7,181人 世帯数: 3,172世帯

会の概要・目的

設立: 平成22年10月

目的: 住民、自治会、各種団体と行政が協働して進める安全で安心して暮らすことができ、芥見に住んでいて良かったと思えるようなまちづくり。

組織構成:

「生活・安全部会」「教育・文化部会」
「福祉・健康部会」「環境・美化部会」
「地域振興部会」「広報部会」の6部門

● 安全・防犯意識の高いまちづくり

青色防犯パトロール活動 (青パト活動)

月曜日から土曜日に、1日2回芥見地区の安全を守る会と協働して、青色回転灯を装着した自動車で、自主防犯パトロール活動を行っている。

1回目は、朝から夕方5時までの間で、各種団体の支援者にて担当を決めてパトロールを行い、2回目は、夜間に自治会長が中心となって行っている。



青色防犯パトロール



研修会の様子

春先には、青パト研修会を開催して実物のパトロールカーの取扱方法などの説明を受け、実務的な知識を高めている。



パトロールカーでの研修風景

活動に必要なパトロール実施者証は、警察署の行う講習を受けてから概ね3年間有効である。

現在、約230名の地域住民が、実施者登録をしており、一人が1年間に行うパトロール回数は、5回から6回となる。

この活動を十数年続けてきたことで、殆どの家庭が青色防犯パトロール活動に参加したことがある状況となっている。

各家庭で、「防犯は他人事でなく、自分たちで防ぐことが大切である」と防犯の意識も高い。

芥見 地域安全パトロール

毎月3回程度、夜間に1時間ほど青少年育成市民会議と自治会長の4人1組で、パトロールを行っている。

巡回ルートは、芥見の地区全体を7つに細分化して危険な場所や公園などを、線で結んだコースである。



地域安全パトロール

芥見の子 見守り隊

芥見地区では、日中働きに出ている保護者が増加してきており、下校時の見守りができていない状況である。

そこで、交差点などの危険な場所を20箇所ほど選び出して、小学校低学年の下校時間に合わせて、ボランティアの方々が30分から1時間、子どもたちを交通事故や犯罪から守る活動を行っている。



芥見の子 見守り隊

芥見地区 刑法犯罪認知件数※

平成21年度
約120件

令和元年度

令和5年度

件数は、大きく減少している



※警察において発生を認知した刑法犯罪事件の数

● 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

お互いさまネット芥見

高齢者を対象に、日常生活上の困りごとや住居周辺の環境の維持を、手助けする活動をしている。

作業用の機械も充実しており、木材粉碎機や薪割り機なども保有している。

<支援事例>

- ・ 住居周辺の草刈り作業
- ・ 庭木の枝払い、伐採作業
- ・ 分別回収、ゴミ出し支援
- ・ 買い物代行、買い物支援

依頼料は無料(機械だけの貸出は、1件2,000円)

最近では、大きくなり過ぎたり、住居の日当りを遮る庭木を伐採して欲しいという依頼も多い。

庭木の伐採作業は大変であるが、支援者からは「薪ストーブの燃料になるので、ありがたいよ」と地域住民と支援者の「お互いさま」な関係も築けている。



● 地域とのつながりの深いまちづくり

各種のサロン

身近な所で、ご近所の方々との語らい、娯楽に興じられる場づくりとしてのサロンを開催している。

- ・ ふれあいいきいきサロン(芥見で1か所)
- ・ 地域サロン(自治会の各支部7か所)

年に3回「男の料理教室」も開催しており、毎回参加者が15人程の人気教室となっている。



男の料理教室

料理メニューは、さっぱり炊き込みご飯、とろろ昆布のすまし汁、ひんやりデザートなど、毎回多彩である。

日頃、地域の事業に参加されない住民の申込みもあり、地域の交流の新しい場づくりになっている。

土曜寺子屋

毎月1回から2回程度、中学生・高校生が自分のペースで学び、わからない点や学習のポイントなどを気軽に聞ける教室の支援を行っている。

講師は、ボランティアの教師経験者、会社員、大学生などの地域の協力者にお願いしている。



取材を終えて

芥見地区では、刑法犯罪認知件数が大幅に減少しており、また自然の環境の維持にも地域住民が直接関わる素晴らしい活動が来ている。

「犯罪の少ない住みやすい地区なので、移住してきました」という住民の声もあり、郷土愛を大切にしながら安心して暮らせるまちづくりが来ていると感じました。

関係者の皆様、取材にご協力頂き、ありがとうございました。

● きれいな季節を感じるまちづくり

春爛漫のさくら並木の維持管理

平成16年から平成18年に山田川(1級河川)に植樹された桜の管理を行っている。

桜の管理は、害虫駆除、河川管理、消毒・枝剪定、草刈りなど多岐にわたる。

チェーンソーや木材粉碎機などの機械も揃え、本格的な整備を行っている。



剪定作業の様子

最近では、山田川の桜は市内有数の桜並木となっており、春の桜の見ごろの時期には地域の活性化に一役かっている。



消毒作業の様子

ホタルの舞う川辺づくり

山田川のホタルを守り増やすために、餌となるカワニナの採取、放流や「ごみ捨て禁止」の看板の設置など、環境保全活動を行っている。



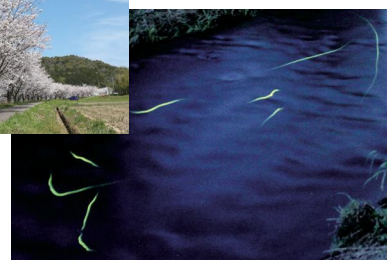
カワニナ放流の様子

山田川沿いでは、春には満開の160本の桜並木が立ち並び、初夏はホタルが乱舞する幻想的な川辺が楽しめる、自然豊かな地域となってきている。

豊かな自然が、住民の心を和ませ郷土愛を育て、芥見に住んで良かったと思えるような、まちづくり活動を行っている。



山田川の桜並木



山田川のホタルの乱舞

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

「ぎふ地域の絆づくり支援センターだより」は、岐阜県のホームページのぎふ地域の絆づくり支援センターのコーナーからご覧いただけます。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12155.html>

